

リコー、東北で新型調合トナーの生産設備増強

Edited By LogisticsToday On 2012/04/17

リコーは17日、子会社の東北リコー（宮城県柴田郡）の工場内に、新型重合トナー「PxP-EQトナー」の生産設備を増設すると発表した。

PxP-EQトナーは、カラーデジタル複合機やプロダクションプリントソリューションズ向けプリンターに搭載される新型重合トナーで、今後急速に需要が拡大するとみられている。PxP-EQトナーの生産設備は、リコー沼津事業所にあるが、新たに東北リコーに生産設備を増設することにしたもの。

東北リコーは重合トナーの第二の生産拠点として2010年6月から5ラインが稼働しているが、今回は増設に110億円を投資し、工場建屋内に3ラインを新設する。

これにより、年間約1800トンの生産能力増強となり、リコー沼津事業所、東北リコーのトータルで年間1万5800トンに拡大、今後の需要拡大に対応できる体制を整える。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/30396>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.